

議案第 1 号関係資料

平成 27 年度

多賀城市教育基本方針及び

教育重点目標に係る主な実績

多賀城市教育委員会

多賀城市教育基本方針

教育基本法の精神に基づき、

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、幅広い知識と教養を身に付け、真理と正義を求める心を持ち、自主・自律と公共の精神に満ちた人格の形成を図る。あわせて、市民が「未来を育むまち史都多賀城」の歴史・文化を継承し豊かな心を育むまちの実現のために活動できる環境整備に努める。

平成27年度教育重点目標

※「27年度教育重点目標」は朱書き訂正した箇所が変更になっています。

1 学校教育の充実

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、基礎的・基本的な幅広い知識と教養を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる能力及び思考力・判断力・表現力などの「確かな学力」の定着と個性を伸ばす教育の充実を図る。

また、国際的視野をもち、生涯にわたり自ら学ぶ意欲と態度、郷土愛と豊かな人間関係を培う教育の推進を図るとともに、教職員の英知と創意を生かし、地域社会に開かれた特色ある学校づくりと子どもたちの「生きる力」をはぐくむ学校教育の実現に努め、「多賀城を知り多賀城を語る児童生徒」の育成に努める。

また、東日本大震災は、児童生徒及び教職員の心身、地域・家庭を取り巻く環境や教育活動に、今もなお大きな影響を与えていることから、児童生徒等の心のケアを充実させるとともに、円滑な学校運営の支援に努める。

このため、次の施策を行う。

(1) 「確かな学力」をはぐくむ教育の施策

(基礎的・基本的な知識・技能の定着、関心・意欲の向上、自ら学び、考える力の育成)

- 教職員の授業力の向上（校内研究の支援、授業づくり研修会等教員研修支援）
- 個に応じた学習指導の支援（少人数、TT、習熟度別指導、学力検査の活用等）
（教員加配措置、学習支援員の配置、特別支援教育の充実策、学力検査支援）
- 体験的な活動の支援（「総合的な学習の時間」の支援、キャリア教育支援）
- 家庭学習の啓発支援（家庭教育研修会、「家庭学習の手引き」の活用）

(2) 「豊かな心」をはぐくむ心の教育の施策

(自己肯定感・自尊心、思いやる心、協働する力、生命尊重、感動する心、正義感、公正を重んじる心の育成)

- 自己肯定感や自尊心を高める道徳教育の推進（授業づくり研修会等教員研修支援）
- 「語りかけて励まし、認めて育てる」、心のかよいあう生徒指導の支援

(SSW・心の教室相談員・学校生活指導支援補助員・SCの配置、SSWを中心とした相談体制の整備・実践的研修の推進、関係機関との連携強化)

○ 体験活動の支援(「総合的な学習の時間」の支援、文化体験支援)

○ とともに学び、ともに育つ特別支援教育の推進

(支援員の配置充実、きめ細やかな就学指導体制の整備、関係機関との連携)

(3) 「健やかな体」を育てる健康教育推進の施策(健康的な生活習慣の形成、学校保健教育の充実)

○ 児童生徒等健康診断の実施、学校保健会活動の支援

○ 学校給食に係るハード、ソフト両面の安全確保の堅持と給食センター、学校が連携した食育の推進(栄養教諭の加配、食育計画の作成と実施)

○ 震災による心の影響の実態把握と適切なケアの推進

(SSW・SCの配置、研修会の設定、福祉部門・宮城県・警察との連携・協働)

(4) 開かれた、特色ある多賀城らしい教育推進の施策

(歴史・文化を尊重し、郷土を愛する心と時代の変化に対応する力の育成、家庭や地域等との協働)

○ 多賀城を知り多賀城を語れる児童生徒の育成(地域の歴史・自然・文化・人材の活用)

(副読本の活用、文化財課・生涯学習課との協働による学校支援、地域行事への積極的参加)

○ 多賀城らしい理科教育の推進(支援員の配置、研修会の継続、大学・企業との連携)

○ 多賀城らしい国際理解教育の充実(ALTの小中学校への配置、英語学習の充実)

○ 保護者、地域の信頼に応える学校づくり(学校評価の実施と公表)

(5) 安全でうるおいのある学校教育環境づくり推進の施策

○ 学校施設の計画的な整備

(校舎増築・大規模改修事業、エレベータ改修事業など小中学校の環境整備や施設の修繕)

○ 安全で安心して学ぶことのできる教育施設の整備

(通学路・遊具等安全点検の徹底、給食・通学路の放射性物質検査、給食食材の産地調査)

○ 防犯・防災教育・安全教育の推進

(多賀城市防災副読本(資料集)作成のための調査・危機管理マニュアルの整備支援、~~研究~~→大学・~~高等学校~~→行政防災部門と協働した防災教育の推進・地域との連携強化支援)

○ 主体的な学びに対応できる学校図書館、パソコンルームの充実と活用(学校図書の実質、図書館補助員の配置、情報モラル教育の支援、パソコンの環境整備)

○ より良い環境を創造する態度を育てる環境教育の推進

2 生涯学習の振興

市民一人ひとりの生涯を通じた学習を支援するため、多様な学習機会を提供するとともに、市民による自主的・積極的な学習活動と、その学習成果を生かした地域づくり、まちづくりへの充実に努める。

また、学校・家庭・地域の連携協力による協働教育を推進し、青少年の健全育成を図る。さらに市民参画、市民協働の理念のもと、地域自治力の向上を目指します。

このため、次の施策を行う。

(1) 講座や学習内容の充実

○ 市民のライフステージに対応した生涯学習・社会教育事業の実施

○ 今日的な社会課題や生活課題に対応した生涯学習・社会教育事業の実施

- (2) 学校・家庭・地域の連携協力による協働教育の推進
 - 学校支援地域本部事業の新たな構築、放課後子ども教室事業の新たな実施
 - 青少年健全育成の啓発
 - 地域コミュニティを活用した市民創造型社会教育事業の推進
 - 市民参画による成人式の開催
 - ジュニアリーダーとインリーダーの支援育成
 - 大代地区公民館の地域コミュニティ拠点化計画に基づいた事業
- (3) 読書活動の充実
 - 市立図書館、分室、移動図書館の充実と学校図書室の連携強化
 - 第二次多賀城市図書館基本計画の推進
 - 多賀城市立図書館移転計画の推進
 - 子どもの読書活動の推進
- (4) 団体支援等
 - 生涯学習、社会教育活動団体の運営及び活動支援

3 スポーツの振興

市民の健全な心身と健康の保持・増進を図るためのスポーツ活動を推進し、多種目・多世代・多目的でつくる市民スポーツ社会を実現する。

スポーツ事業を実施し、人と人との交流や地域間の交流を促進し、活気あふれる元気なまちづくりを目指す。

このため、次の施策を行う。

- (1) スポーツ機会の充実
 - 総合型地域スポーツクラブの理念に基づくスポーツレクリエーション活動の振興
 - 市民が参画し、主体となるスポーツ推進体制の充実
 - 教室講座、事業の充実
 - 見るスポーツ、サポート活動の振興
- (2) 社会体育施設等の環境整備
 - 施設・設備の充実
 - 地域に根ざしたきめ細かなスポーツサービスの充実
- (3) スポーツ団体の支援
 - 総合型地域スポーツクラブである多賀城市民スポーツクラブとの連携協力
 - 体育協会、スポーツ少年団等の育成支援
 - 団体間交流の推進

4 芸術文化の振興

市民の多様な文化活動を積極的に支援するとともに、心の豊かさを求める市民の文化に寄せる関心と期待に対応するため、国の内外の優れた芸術を鑑賞する機会の拡充に努める。特に、音楽などの芸術文化は、人々に感動や活力をもたらすことから、文化センターの特性を活かしたホール事業に重点的に取り組み、文化的生活及び心の復興の一助とする。

このため、次の施策を行う。

- (1) 市民の教養と豊かな情操を培うための芸術鑑賞機会の提供

- (2) 市民が行う、芸術文化活動の支援
- (3) 市民参加型事業の創出

5 文化財の保存と活用

文化財を適正に保存・活用することは、市民の歴史文化に対する意識の向上に繋がり、ひいては本市の個性豊かな魅力あるまちづくりに大きく寄与するものである。

よって、東日本大震災からの~~復興~~復興に向けて、歴史、文化を活かしたまちづくりを推進するため、郷土の貴重な遺産である文化財を保護・継承し、関係部署等との連携のもと、その活用を図る。また、震災復興のシンボルともなる特別史跡多賀城跡南門等復元整備事業への取組みを進める。

このため、次の施策を行う。

- (1) 特別史跡の公有化及び史跡地内の景観保全
 - 特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画に基づく公有化の促進
 - 地域等との連携による史跡地内の景観保全
- (2) 特別史跡多賀城跡復元整備事業の推進
 - 多賀城南門等復元整備検討委員会議の開催
- (3) 名勝「おくの細道の風景地」の景観保全
 - 「壺の碑」、「興井」、「末の松山」の保存管理活用計画の策定
- (34) 文化財保護意識の普及啓発
 - 震災復興に関連した展示会等の開催
 - 市民と一体となった文化財保護意識の普及啓発
- (45) 文化財調査の実施と保存活用の推進
 - 本市の歴史の根幹をなす埋蔵文化財の調査、保存、活用
 - 被災文化財（民俗資料・古文書等）の保全、調査
- (56) ~~多賀城史遊館~~（埋蔵文化財調査センター体験館）~~（多賀城史遊館）~~の管理運営
 - 収蔵資料を活用した体験学習の充実と展示公開
- (67) 文化財関連施設の整備
 - ~~古文書等収納設備設置の検討~~埋蔵文化財調査センター特別収蔵庫の改修工事

**平成26年度
多賀城市教育基本方針及び教育重点目標に係る主な実績**

1 学校教育の充実

(1) 「確かな学力」をはぐくむ学校体制の構築

○ 自主的に学ぼうとする意欲の喚起と体制整備

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・夏季・冬季休業期間における東北学院大学との連携とに学び支援コーディネーターの活用による自主学習支援のための学習会（多賀城スクール）の実施と充実 ・初任者・講師等対象研修会の実施 ・家庭学習の手引きの活用 ・家庭学習を定着させるための「家庭教育講演会」の開催 	自主学習 支援事業 1,115千円	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間における多賀城スクールでは、自ら学習しようとする意欲が見られ、サマースクールを通して自分から勉強しようという気持ちになった小学生は92.2%、中学生は89.1%に達した。 ・初任者・講師等対象研修会を3回実施し、アンケート調査から「大変有意義な研修であり、今後も継続してほしい」という意見が多かった。 ・家庭教育講演会において子どもたちへの保護者・教員の関わり方を話していただき、家庭・学校における指導力の向上につながった。

○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「できる」「使える」授業の実践 ・家庭学習の手引きの作成など家庭学習の充実 ・朝学習・朝読書の充実 ・「教え合い、学び合い」の場の設定と実践 ・読み取る力を向上させる授業の実践 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を行うことにより、定着に時間のかかる児童生徒の学力が向上してきた。 ・家庭学習の習慣化が学ぶことへの意欲につながり、基礎・基本の定着につながってきている。 ・教え合い、学び合いのよって、思考力・表現力が高まってきている。

○ 学習に対する関心・意欲の向上

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の学習指導の構築 ・学習への動機づけを重視した導入の工夫 ・学習習慣の定着を図る工夫 ・体験的な活動を取り入れた授業の展開 ・ペア学習・グループ学習の導入 ・学習計画表の活用 ・公開研究会への参加 ・校内の学力向上・指導力向上・指導法工夫改善の研修会の実施 ・学習の手引き等を作成し、学び方の指導を実施 ・学習個別支援員が、小学校の主として3 ・4年生の学習遅延傾向にある児童に対し 	多賀城学習個別支援事業 6,521千円 小学校理科支援事業 2,603千円	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の学習指導、体験的な活動やペア・グループ活動を取り入れた授業を行うことにより、児童生徒が主体的に学ぶようになり、知識の定着が図れた。 ・授業のねらいやめあてがわかることにより、明確な課題を持って授業に臨むようになった。 ・各校で創意工夫した研究・研修を行い、実践に対して指導助言を行うことにより、教員の指導技術と共に日頃の指導への意欲が高まった。 ・研修内容の伝講を積極的に行うことにより、有効な手だてを共有できた。

<p>、教師に協力し個別指導等のきめ細かな指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科支援員が、小学校における理科の実験等において教師を補助し、児童の理科への興味・関心を高める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習個別支援員が、個別指導をすることにより、定着に時間のかかる児童・生徒の学力が向上すると共に、授業がより円滑に進むようになった。 ・理科支援員のきめ細かなサポートにより、理科に対する興味・関心が高まり、自主的な学習に取り組む児童・生徒が増えた。
---	--	---

○ 個に応じた学習指導の工夫

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童生徒の実態に応じ、次のような指導方法や指導体制の工夫改善を行い、個に応じた指導の充実を図る。 ・少人数指導 ・T T指導 ・習熟度別指導 	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を行うことにより、定着に時間のかかる児童生徒の学力が向上してきた。 ・少人数指導：一人一人に目が届き、児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導ができ、学習効果が高まった。 ・T T指導：教員1人では対応しきれない個別指導やグループ指導ができ、学習効果が高まった。 ・習熟度別指導：児童生徒の実態に応じた指導を行うことができ、学習効果が高まった。

○ 自ら学び、自ら考える力をはぐくむ「体験活動の充実」

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に自然体験や奉仕活動、社会体験、職場体験を計画的に位置づけ、学ぶ意欲の向上を図る。 	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団宿泊体験、農業体験活動等を通して主体性や協力性を高めることができた。 ・体験活動を通し、主体性や協力性が育ち、自発的な奉仕活動も見られるようになってきた。 ・働くことの厳しさや尊さ、喜びを学ぶとともに、職業に対しての意識が高まった。

○ 教職員の授業力の向上

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・教師の授業力の向上のための校内研究の充実 ・教育研修センター等各種研修機関で開催される研修会への参加 ・公開研究会への参加 ・校内の学力向上の研修会の実施 ・授業づくり研修会の実施 ・全教職員研修会、ICT活用研修会、新採・転入教職員研修会、教育研究論文表彰式及び学校運営研修会、非常勤職員研修会の実施 	<p>多賀城市教職員研修補助事業 270千円 学校教育指導事業 2,039千円 教職員研修事業 2,910千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内全体や学年において研究授業を行う中で、教材研究を深められた。また、事前や事後の授業検討会で成果や課題を見いだすことにより、教職員の指導力が向上し、指導法の工夫改善が図れた。 ・学校課題や教員のニーズに対応した研修内容等で教師の指導力の向上が図れた。

(2) 「豊かな心」をはぐくむ心の教育の推進

○ 語りかけ、励まし、認める、心のかよいあう生徒指導の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の育成・定着に関する指導（学習態度・「早寝、早起き、朝ご飯」等） ・ 自己有用感を持ち、共感的人間関係を築き、自己決定できる児童生徒の育成。 ・ 定例生徒指導部会での共通理解を図る。 ・ 不登校児童・生徒への対応（継続的な家庭訪問等） ・ 学校生活アンケートの実施と早期対応 ・ 「心の教室相談員」「中学校生活指導支援補助員」「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」との連携 ・ 校外の生活に関する指導 	心の教室相談員活用事業 1,282千円 中学校生活指導支援事業 2,321千円 スクールカウンセラー活用調査研究事業 309千円 スクールソーシャルワーカー活用事業 4,440千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導の状況について定期的に確認していくことで、常に共通理解が得られ、指導の徹底が図られた。 ・ 積極的な生徒指導に努め、児童生徒は活き活きと学校生活を送っている。 ・ いじめの早期発見、早期対応に取り組み、児童生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを進めた。 ・ 前年度不登校児童生徒に対して、特に配慮して指導に当たると共に、家庭と連携を図りながら不登校児童生徒が減少するよう努め、登校できた、登校の兆しが見えてきた児童生徒がいる。 ・ 各種相談員等が児童生徒・保護者・教員の相談を受け、アドバイスをするなどし、改善している事例が数多くある。

○ 豊かな心をはぐくむ体験活動の充実

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間での体験活動（お年寄りとの交流会等） ・ 福祉活動（盲導犬・手話・車いす体験・視覚障害者体験・老人福祉施設訪問等） ・ 全校奉仕活動の実施 ・ 道徳の授業の充実 	総合的な学習の時間 421千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流体験を通し、思いやりや感謝の心が育ってきている。

○ 発達に応じた基本的生活習慣、公共心、規範意識の育成

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校生活指導支援補助員との連携 ・ 基本的生活習慣の育成指導（学習態度、集団生活のきまり） ・ 「月別生活目標」の掲示と生徒へ適宜確認 ・ 生徒指導の重点目標の設定 ・ 中学校学区の講演会や地区懇談の実施 ・ 「あいさつ運動」の実施 ・ 道徳の授業の充実 	中学校生活指導支援事業 2,321千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校生活指導支援補助員との連携により、中学校1年生が学校生活に対応できるよう、きめ細かな生活支援ができています。 ・ 職員会議等で共通理解を図り、全職員で一致した対応ができた。生徒の規範意識が高まっている。

○ ともに学び、ともに育つ特別支援教育の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・交流学習の実施 ・居住地校交流（利府支援学校の児童）の実施 ・特別支援教育支援員との連携 ・特別支援教育の教員対象の研修 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした、特別支援教育担当教員の教育相談 	小学校特別支援教育支援事業 17,536千円 中学校特別支援教育支援事業 4,385千円	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級在籍の児童生徒における特別支援学級在籍児童生徒に対する理解が深まり個性や特性を認め共に育っていこうとする気持ちが高まってきた。 ・支援員等の配置により、特別支援を要する児童生徒に対してきめ細かな指導ができると共に、交流学習が充実し、互いの理解を深めながら共に学ぶ学校の環境づくりが進んだ。

(3) 「健やかな体」を育てる健康教育の推進

○ 健康的な生活習慣の形成と学校保健教育の充実

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断等を通し、健康と予防・治療に関する指導 ・「早寝、早起き、朝ご飯」の運動の推進 ・体力テスト（スポーツテスト）の活用 	健診等5事業 22,570千円	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な体づくりについて児童生徒、保護者を指導、啓発してきたことで意識が向上している。

○ 学校給食の更なる安全性の確保と学校と連携した栄養指導の充実

事業概要	決算見込額	評価等						
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者納入組織であるJA仙台多賀城支店直売会学校給食部会と連携を密にしながら安全性の確保に努めるとともに、地場産野菜類の納品規格特例緩和を継続しながら、食材として積極的に取り入れる。 	食材調達費 269,337千円	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の納入希望総量が減少傾向にあることから、部会組織内態勢における抜本的改革が望まれるものである。 また、使用（発注）計画量に対しキャンセルが相次ぎ、納入率が下がったことを受け、部会に対して、会員への割り当て等の調整により納入量を確保するよう働きかけている。 <p>< 11月末現在地場産野菜類使用状況 ></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>地場13品目使用計画量 ①</td> <td style="text-align: right;">14,591</td> </tr> <tr> <td>地場13品目納入量 ②</td> <td style="text-align: right;">10,074</td> </tr> <tr> <td>納入率 ②÷①</td> <td style="text-align: right;">69.04%</td> </tr> </tbody> </table>	地場13品目使用計画量 ①	14,591	地場13品目納入量 ②	10,074	納入率 ②÷①	69.04%
地場13品目使用計画量 ①	14,591							
地場13品目納入量 ②	10,074							
納入率 ②÷①	69.04%							

<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭と学級担任や教科担当が連携した食に関する指導の実施 ・試食会等における栄養教諭の指導や参観 ・食育担当者会議における各校の特色ある食に関する指導の情報交換 ・市内全教職員に対する食に関する研修会の実施 ・食に関するアンケート調査の実施・分析と学校における指導への活用、家庭への啓発 ・食育だより、予定献立表、栄養教諭だよりの発行による食育関連活動等の情報発信 ・夏休み・冬休み親子料理教室の実施 ・取組みの成果について県内に発信 	<p>栄養教諭を中核とした食育推進事業栄養指導 0千円</p>	<p>・県委託事業の中止に伴い事業を中止しました。</p>																								
<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に盛り込まれた食育の実施に伴い、各学校の意思を確認するため、給食センターに対する各学校の「食に関する指導」の具体的内容についてアンケートを実施し、栄養教諭・栄養士による栄養指導を行うほか、保護者試食会等を通じて給食への理解を深める。 	<p>栄養指導 952千円</p>	<p>・アンケートの内容を尊重した形で栄養等に関する知識を広めることができた。 <12月末現在状況> ○食に関する指導 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="914 913 1444 1131"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食時間</td> <td>826</td> <td>1,260</td> <td>2,086</td> </tr> <tr> <td>授業時間</td> <td>2,407</td> <td>174</td> <td>2,581</td> </tr> <tr> <td>試食会</td> <td>986</td> <td>64</td> <td>1,050</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4,219</td> <td>1,498</td> <td>5,717</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	小学校	中学校	合 計	給食時間	826	1,260	2,086	授業時間	2,407	174	2,581	試食会	986	64	1,050	その他				合 計	4,219	1,498	5,717
区 分	小学校	中学校	合 計																							
給食時間	826	1,260	2,086																							
授業時間	2,407	174	2,581																							
試食会	986	64	1,050																							
その他																										
合 計	4,219	1,498	5,717																							
<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な施設、設備を維持するため、日常点検及び保守点検を徹底するとともに、設備等の長寿命化を図るため計画的に設備等を更新する。 	<p>24,299千円</p>	<p>開所後12年が経過し、突発的不具合箇所や点検時指摘箇所が多数発生している状況にあるため、計画的な設備の維持、修繕と設備の長寿命化を図るため、平成25年度に策定した設備等更新計画に基づき、平成26年から実施した。</p>																								

(4) 開かれた、特色ある学校づくりの推進

- 「史都 多賀城」にふさわしい歴史と伝統、文化を尊重し、郷土を愛する学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域素材を生かした授業実践 	<p>0千円</p>	<p>・平成25年度で事業完了</p>

- 多賀城を知り多賀城を語る児童・生徒の育成

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに、多賀城市（地域）から学ぶ「調べ学習」や「体験的活動」を行い、その内容を新聞やレポートにまとめ、お互いに発表する。 	<p>総合的な学習の時間 421千円</p>	<p>・多賀城市について調べたことを発表したり、聞いたりしたことによって、多賀城市への理解が深まった。</p>

- 保護者、地域及び関係機関との連携・融合による学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々をコミュニティ・ゲストとして活用する授業の展開 ・学校便り等の配布や回覧による保護者や地域に対する学校情報の発信 ・夜間の学校開放講座の実施 ・児童・生徒の万葉まつりや短歌・俳句大会への参加への働きかけ 	総合的な学習の時間 421千円	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の地域に対する理解が深まった。 ・学校の教育活動に対して、保護者や地域の方々の関心が高まり、理解も深まった。

○ 時代の変化に対応する児童・生徒を育てる学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<国際理解> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの英語活動等を通しての交流活動と異文化理解 ・ユニセフ募金活動 ・外国人やJICAとの国際交流 <福祉活動> <ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬体験、車いす体験、点字体験、手話体験 ・キャップハンディ体験 ・老人福祉施設訪問 ・募金活動 	外国語活動指導支援事業 18,576千円 総合的な学習の時間 421千円	<ul style="list-style-type: none"> ・英語や異文化を体験することで英語や外国の文化に対して興味・関心が高まり、コミュニケーション能力の向上が伺えた。 ・様々な体験を通し、障害について考え、思いやりや優しい心を育むことができた。

○ 保護者、地域の信頼に応える学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての小・中学校における教職員による自己評価と生徒・保護者による学校関係者評価の実施と評価の結果の公表 ・学校評議員の授業参観、行事参観、懇談会の実施 ・区長、民生委員の方々と教育活動に関する懇談会の実施 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動に対して概ね一定の評価を得ることができた。

(5) 安全でうるおいのある学校教育環境づくりの推進

○ 安全で安心して学ぶことのできる教育施設の整備

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城市施設整備計画に基づき、多賀城中学校のプールについては、老朽化が著しいため、施設を更新し、生徒の学習環境の整備を図る。 平成26年度多賀城中学校プール防水シート修繕業務 	7,236千円	<ul style="list-style-type: none"> ・防水シート修繕業務については、平成26年6月20日に完了済みです。
<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城市施設整備計画に基づき、城南小学校の校舎については、仮設プレハブ校舎の解消を図るため、校舎増築及び既存校舎の大規模改修を行い、児童等の学 	城南小学校 増築事業 27,083千円	

習環境の整備を図る。 平成26年度城南小学校校舎増築工事 設計業務委託		・平成26年8月末に完了済みです。
城南小学校校舎大規模改修工事設計業 務委託	20,196千円	・平成27年3月末に完了予定です。
同 耐力度調査委託	8,100千円	・平成27年2月末に完了予定です。

○ 安全教育の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における年2回以上の避難訓練の実施 ・災害を想定した保護者の方々への児童引渡し訓練・集団下校訓練 ・警察やPTAによる防犯教室の実施 ・不審者情報の発信（お便り・電子メール） ・携帯電話教室等の実施 	—	・児童・生徒、保護者、教職員の防災・防犯に対する意識向上に役立っている。

○ 主体的な学びに対応できる学校図書館の充実と活用

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・国語科学習と関連を図った読書の奨励 ・図書館便りの発行と課題図書や推薦図書の紹介 ・朝読書の実施 ・図書館補助員やPTAの方々による読み聞かせ（小学校） ・図書館補助員による図書の貸出等の補助 ・市立図書館との連携 	学校図書館充 実事業〔中学 校〕 2,619千円	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用する児童・生徒が増え、読書に親しむ心が培われてきた。 ・市立図書館との連携により、「調べ学習」に活用できる本が増えた。

○ より良い環境を創造する態度を育てる環境教育の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・児童会・生徒会を中心とした省エネルギー、省資源、リサイクルの活動の実施 ・校内の緑化活動、公園等の清掃活動の実施 ・学校ISOへの取組 	—	・自然環境を守ろうとしたり無駄をなくそうとしたりとする意識が高まってきた。

2 生涯学習の振興

(1) 市民の発達課題に対応した学習機会の提供等ライフステージに合わせた講座や学習内容の充実

○ 家庭における教育の大切さを伝える家庭教育事業の開催

事業概要	決算見込額	評価等
・保護者が集まる機会を活用して家庭教育の大切さを考える機会を提供する。	57千円	・学校との連携により、家庭教育に係る講話や研修会を開催したことで、家庭教育の重要性が理解され、実践に活かそうとする意識が高まってきている。 今後も多くの保護者に家庭教育の大切さを伝えることが必要である。

○ 多様な事業主体による学習機会の提供

事業概要	決算見込額	評価等
・東北学院大学と連携して講座を開催し、社会教育の場を提供する。	—	・春期は「豊かな生活を築くための方策」をテーマに8講座延べ288人参加した。秋期は『『微生物』が拓く安全・安心な社会』をテーマに6講座延べ251人が参加した。

(2) 青少年活動の支援及び組織の育成

○ ジュニアリーダー「エステバン」の育成

事業概要	決算見込額	評価等
・ジュニアリーダー初級研修を開催し、年少リーダーを育成する。 ・ジュニアリーダー「エステバン」を支援 ・育成する。	405千円	・子ども会活動の推進役、地域青少年活動の充実を目指すため、ジュニアリーダー活動を支援した。 活動内容は、子ども会や市主催の子ども対象事業への会員派遣、近隣市町との交流事業、サークル主催事業等。

○ 小学4～6年生を対象とした集団生活体験学習による心豊かな人格形成と将来のリーダー育成

事業概要	決算見込額	評価等
・子ども会活動への主体的な参画や、ジュニアリーダーとしての地域奉仕活動等を担える次世代リーダーの育成を目的とした研修会（インリーダースクール）を開催する。	49千円	・小学4～6年生を対象に、自然に親しみながら仲間との交流を深める研修会を実施。

(3) 家庭、学校、地域及び関係機関が一体となった青少年健全育成の支援

○ 関係機関との連携による青少年健全育成相談業務の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・学校教育、児童福祉その他関係機関と連携し、青少年や保護者等からの相談に応じる。 ・補導員の街頭巡回指導を実施する。	3,064千円	・こども専用のフリーダイヤルを設置、市内小中学校の児童生徒に相談カードを配付し相談に対応している。 保護者等からの電話相談又は面接相談にも随時応じ、相談者の悩みや心配事を聞き、適宜支援を行った。

		・補導員が1週間に3回程度市内を巡回指導し、非行の減少に努めた。
--	--	----------------------------------

○ 家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成の啓蒙、啓発

事業概要	決算見込額	評価等
・青少年健全育成多賀城市民会議では、市内の青少年育成関係者をはじめ市民と連携し、青少年問題の重要性を再確認し、青少年の健全育成を目的とする事業を実施する。少年の主張及び青少年健全育成研修会を開催する。	330千円	・市内中学校を会場とし「少年の主張」の発表を行い、多くの生徒や市民に対し青少年問題について一考してもらう契機となった。

○ 市民の手づくりによる成人式の開催

事業概要	決算見込額	評価等
・成人を祝い励ますことを目的とし、式典を実施する。	425千円	・市内4中学校代表によって成人式実行委員会を組織し、成人式の企画、運営を行った。実行委員会を組織することにより、毎年独自の式典となっており、参加者の満足度も高い。

○ 家庭、学校、地域が一体となった学校支援地域本部事業の実施

事業概要	決算見込額	評価等
・学校、家庭、地域が共に連携して、地域の子どもたちを心豊かに育むことを目指し、東豊中学校区と第二中学校区、多賀城中学校区において、学校支援地域本部事業を実施する。 地域本部には、コーディネーターを配置し、学校の求めに応じて地域のボランティアにより学校を支援する様々な活動を行う。	900千円	・東豊中学校区と第二中学校区に加えて、多賀城中学校区で事業を開始した。協働教育の理念のもと、地域の様々な能力・知恵を持った方々にも学校教育活動に参加していただいたことで、学校教育活動の充実と子どもたちの健やかなる成長が図られてきている。

○ 多賀城市子ども読書活動推進計画推進と最終目標達成のための評価と検討

事業概要	決算見込額	評価等
・第2次多賀城市子ども読書活動の推進計画に基づき、子どもの読書活動の推進を目指す。	—	・関係各機関がそれぞれ読書活動の推進に向けての取組みを実施している。

○ 放課後の子どもたちの居場所となる放課後子ども教室事業の実施

事業概要	決算見込額	評価等
・学校施設を利用して、放課後に子どもたちが安心して安全に過ごせる居場所を設け地域住民と交流することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	5,700千円	・多賀城小学校と八幡小学校、多賀城東小学校に加え、本年度は山王小学校でも開設した。参加申し込み者が増加傾向にあることから、安心安全に学習やスポーツ等が行える場所として、児童や保護者

		間で認知されてきている。 (多小123人・八幡小99人・東小69人・山王小128人) また、協働教育の理念のもと、運営は地域の方々の参画で得て実施しており、子どもたちの活動を支えるスタッフも増加している。
--	--	--

(4) 生涯学習関連施設の整備

- 生涯学習関連施設の利便性向上及び安全性確保に伴う整備

事業概要	決算見込額	評価等
・文化センター大規模改造に伴う設計業務委託	46,440千円	工事完了(見込)年月日 平成27年8月31日

(5) 読書活動の充実

- 市民の参加・協力により地域を支える図書館としての機能充実

事業概要	決算見込額	評価等
・本館と各分室でボランティア団体が読み聞かせ会を実施するとともに、図書館の各種行事に参加し協力している。	—	・定期的な読み聞かせ会の開催やおはなし会を実施し、図書館利用の拡大と市民の読書への関心を高めた。 ・公募で毎月市民の展示を行い、文化的な作品に関心を持ってもらった。

- 家庭・学校等との連携により読書への理解を深め、読書活動を推進

事業概要	決算見込額	評価等
・こども読書活動推進体制の充実を図るため、市内各小学校6校へ図書館から司書を派遣し、学校図書室に市図書館コーナーを設置し貸出を実施。 ・総合的な学習支援として効果的な学習及び職場体験の支援。	7,168千円	・天真小学校、城南小学校、山王小学校、多賀城東小学校、多賀城八幡小学校、多賀城小学校の6校で読書活動の支援を行った。 ・市内外の各中学校等から職場体験依頼が多数寄せられ実施した。

3 スポーツの振興

(1) 多賀城市民スポーツクラブとの協働による生涯・健康スポーツの推進

○ 健康づくりと地域コミュニケーション推進のためのスポーツ事業の展開

事業概要	決算見込額	評価等
・市民の健康の保持、増進や地域内でのコミュニティ形成の寄与等、行政の責務として行う社会体育事業を（特活）多賀城市民スポーツクラブに委託し実施する。	－	・地域コミュニティの活性化を目指した市民スポーツ大会（4競技）や指導者派遣事業を実施し、スポーツによる地域コミュニティの活性化を図った。

○ 地域社会に開かれた学校体育施設開放事業の推進

事業概要	決算見込額	評価等
・地域スポーツの拠点である市内10校の学校体育施設を積極的に開放する。 また、学校開放の申請受付、管理運営等については、市民サービス向上の観点から、スポーツ関係窓口を一元化することとし、多賀城市民スポーツクラブに委託している。	3,686千円	・市民の身近な施設として生涯スポーツ活動や地域コミュニティ活動の拠点となっている。

(2) スポーツ人口の底辺拡大を目指した体制の推進

○ 地域に密着したスポーツ活動推進のための体制整備

事業概要	決算見込額	評価等
・各地区にスポーツ振興員を委嘱し、市主催のスポーツ大会行事を中心に行政区内の市民に対し、参加の積極的啓発を行う。 ・体育協会への支援育成を行う（補助金による財政支援）。	1,871千円	・スポーツ振興員の委嘱を再開し、市主催のスポーツ大会を始め各種スポーツ行事への参加啓発を行った。 ・体育協会加盟団体の支援育成に努めた。

(3) 指定管理者としての効果の拡充

○ 利用しやすいスポーツ施設のシステムの改善

事業概要	決算見込額	評価等
・体育施設及び多賀城公園野球場、中央公園サッカー場は、指定管理者による第3期（平成23年度から平成27年度）の管理経営を行う。	117,198千円	・施設・設備が老朽化しているため、施設管理費は年々増加する一方である。その中で指定管理者は、独自の管理運営努力及び事業のノウハウを活かすなど相当の努力でサービス向上に努めている。 ・多賀城公園野球場は、平成23年5月から引続き仮設住宅地となっている。

4 芸術文化の振興

(1) 市民の教養と豊かな情操を培うための芸術鑑賞機会の提供

○ 市民会館自主事業を充実し教養と豊かな情操を培う芸術文化鑑賞の推進

事業概要	決算見込額	評価等
・平成23年度から文化センターの運営管理に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウとネットワークを活用した質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	114,804千円	・施設・設備が老朽化しているため、緊急を要する施設の整備を行った。また、指定管理者は、独自の管理運営努力及び事業のノウハウを活かすなどし、質の高い芸術文化事業の提供に努めている。

○ 市民の学習成果を地域に還元する等芸術文化活動を支援する、市民音楽祭等の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・第33回多賀城市民音楽祭の開催 (中央公民館)	716千円	・出演団体 18団体 801名入場
・音楽まつりの開催(大代地区公民館)	50千円	・出演団体 3団体 150名入場
・クリスマスコンサート (山王地区公民館)	35千円	・出演団体 4団体 (12月21日開催予定)

○ 文化センターや地区公民館で活動する団体間交流と市民参加を促進する文化センターまつり、地区公民館まつりの充実

事業概要	決算見込額	評価等
・文化センターまつりの開催	893千円	・利用者が組織する文化センター利用団体協議会が運営し、2月27日から3月1日に開催する予定である。
・大代地区公民館まつりの開催	—	・利用者が中心となり、実行委員会を組織し、活動成果の発表の場として、3月14日に開催する予定である。
・山王地区公民館まつりの開催	—	・利用者が中心となり、実行委員会を組織し、公民館まつりの企画・運営を行い10月5日に開催されたまつりには380名が来館した。

5 文化財の保存と活用

(1) 特別史跡の公有化及び史跡地内の維持管理

○ 将来に継承する特別史跡の保存、管理、活用

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・特別史跡内の用地買収 ・特別史跡内等及び市指定文化財の保護管理 ・体験学習等特別史跡内の活用 	250,000千円 24,020千円 1,552千円	<ul style="list-style-type: none"> ・特別史跡の公有化を進めた。 ・公有化した土地の除草、清掃、樹木管理及び施設管理に努めた。 ・特別史跡内未整備地を活用し、地域、学校との連携の下、体験学習を行った。

(2) 多賀城跡建物復元整備計画の推進

○ 歴史的風致維持向上計画に基づく文化財を活かしたまちづくりの推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・南北大路の復元、大路を中心とした諸施設の整備 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城市歴史的風致維持向上計画に基づき、特別史跡を活かしたまちづくりを推進するため、南北大路等の復元の検討を行った。

○ 歴史学習の拠点となる多賀城跡建物復元事業の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城南門等の復元整備 	4,895千円	<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城南門等復元整備検討委員会議を開催し、多賀城南門跡の発掘調査成果をもとに復元建物等の検討を行い、調査成果に基づく復元案を作成した。

(3) 文化財保護意識の普及啓発

○ 市民と一体となった文化財保護意識の普及啓発

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財関係団体の支援 ・文化財の普及啓発活動 	623千円 2,597千円	<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城史跡顕彰会、多賀城太鼓保存会、多賀城鹿踊保存会、大伴家持顕彰会の活動を支援した。 ・速報展、企画展や遺跡調査報告会を実施するとともに、市内小・中学校への出前事業を実施し、文化財への関心を高めた。

(4) 発掘調査の実施と保存活用の推進

○ 本市の歴史の根幹をなす埋蔵文化財の調査、保存、活用

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財緊急調査事業 ・発掘調査受託事業 ・出土品等の整理保存活用事業 ・調査資料デジタル化事業 ・埋蔵文化財保存活用整備事業 ・埋蔵文化財調査センター改修事業(設計) 	60,009千円 11,820千円 4,089千円 5,238千円 3,062千円 6,912千円	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地内における各種開発に対して発掘調査を実施し、出土品の保全を図るとともに、本市の歴史資料を将来展示等で活用するため、写真資料等のデジタル化を行った。 また、震災からの早期復興のため、住宅再建、区画整理事業等に伴う緊急調査を実施した。

(5) 埋蔵文化財調査センター体験館（多賀城史遊館）の管理運営

○ 考古・民俗資料等の展示並びに体験学習の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・埋蔵文化財調査センター体験館の運営	4,729千円	・歴史的体験学習を実施し、資料展等を開催するとともに、施設の管理に努めた。

(6) 被災文化財の保全

○ 文化遺産活用活性化事業

事業概要	決算見込額	評価等
・被災文化財を含めた地域遺産を総合的に把握	80千円	・中・近世の供養碑について、拓本採取、石材鑑定等の調査を実施した。

○ 被災ミュージアム再興事業

事業概要	決算見込額	評価等
・被災資料の修復や、資料のデジタル化、データベース化を実施。	16,998千円	・資料修復を行い、古文書等の保全に努めるとともに、収蔵資料のデジタル化、データベース化を実施し、将来の展示公開への基盤を整えた。 また、古文書等の保管のため、埋蔵文化財調査センター特別収蔵庫の改修設計を行った。